

第22回世界少年野球大会三重・奈良・和歌山大会について 実施概要（報告）

平成24年8月1日
スポーツ推進局

第22回世界少年野球大会三重・奈良・和歌山大会が開催され7月30日にすべての行事が終了しました。

- 1 実施期間 平成24年7月22日（日）から7月30日（月）まで
（参加者受け入れ：7月22日、参加者送り出し：7月30日）
- 2 参加者 別紙
- 3 実施内容
 - (1) 開会式 7月24日
 - ・場所：熊野スタジアム
 - ・参加者数 大会参加の少年少女 324名
役員・大会スタッフ等 626名
観客 約1,500名
 - (2) 交流試合 7月24日から7月29日 12試合実施
 - ・中国、韓国チームと三重、奈良、和歌山県の各4チームと対戦
 - ・場所：熊野スタジアム、下北山村スポーツ公園、くろしおスタジアム
 - ・観客数（3会場6日間12試合）：約3,000名
 - (3) 野球教室 7月24日から7月29日 6回実施
 - ・場所：山崎運動公園内
 - ・世界13の国、地域から参加した少年少女に対して、IBAF（国際野球連盟）コーチによる野球の実技指導
 - (4) 交流行事 7月25日から7月29日 7回実施
 - ・場所：熊野市、御浜町、紀宝町、下北山村、新宮市
 - ・交流試合、野球教室に参加した少年少女が交流行事（海の体験、祭り体験、川遊びなど）を通して地域の皆さん方と触れ合い交流を深める。
 - (5) 閉会式 7月29日
 - ・場所：熊野スタジアム
 - ・参加者数 大会参加の少年少女 約300名
役員・大会スタッフ等 約200名
観客 約200名
 - (6) その他 大会期間中ウエルカムパーティー、記念パーティー、グッドウィルパーティーを実施
- 4 その他 大会に参加の少年少及びホストスタッフ、アシスタントコーチ、IBAFコーチ等のスタッフは、7月29日（日）にマレーシア、インド、アメリカが、7月30日（月）に他の参加者が熊野市を離れ帰国の途につきました。

第22回世界少年野球大会 三重・奈良・和歌山大会 参加者数

平成24年8月1日

- 1 大会期間中の総参加者数 約6,200名
内訳は次のとおりです。
- 2 参加者 324名
 - (1) 野球教室 125名 (内訳は以下のとおり)
 - 12の国、地域 60名
カナダ 中華台北 コートジボワール チェコ フィジー
フランス インド マレーシア ニュージーランド スペイン
ベネズエラ アメリカ合衆国
 - 国内 65名
内訳 (三重15名、奈良10名、和歌山10名、その他30名)
 - (2) 交流試合 199名 (内訳は以下のとおり)
 - 国外 28名 中華人民共和国 大韓民国 以上2チーム
 - 国内 171名 三重 59名 4チーム
奈良 54名 4チーム
和歌山 58名 4チーム
- 3 大会スタッフ 200名 (以下は内訳)
 - (1) IBAF コーチ 9名 (国際野球連盟より派遣された野球教室の指導者)
 - (2) アシスタントコーチ 18名 (野球教室及び大会運営に係る補助)
 - (3) ホストスタッフ 31名 (各国参加者の通訳及び子どもたちの日常の世話)
 - (4) シャペロン 12名 (野球教室に参加する国・地域に現地から帯同し、子どもたちの世話)
 - (5) 監督・コーチ 41名 (交流試合に参加するチームの監督・コーチ)
 - (6) 事務局スタッフ 56名 (世界少年野球推進財団、三重県、奈良県、和歌山県、熊野市、下北山村、新宮市、紀宝町、御浜町)
 - (7) その他 33名 (医療関係者等)
- 4 運営補助スタッフ 約900名 (内訳は以下のとおり)
 - (1) 開会式等式典 約400名 (式典運営に係る補助)
 - (2) 交流試合 約100名 (試合審判、試合運営に係る運営補助)
 - (3) 交流行事 約400名 (交流行事地元ボランティア)
- 5 開会式観客数 約1,500名
- 6 閉会式観客数 約200名
- 7 交流試合観客数 約3,000名 (3会場6日間12試合合計)

第22回世界少年野球大会三重・奈良・和歌山大会スナップ

平成24年8月1日
スポーツ推進局



